学校・団体

自然のオブジェ

千葉市少年自然の家プログラム　クラフト

場所	クラフト室
時間	2 時間程度
値段	料金表参照
季節	年間
人数	クラフト室　席数 48

準備物

【利 用 者】新聞紙、ぞうきん、救急用品
活動に適した服装、飾りつけたいもの

【自然の家】材料（間伐材または丸木材）、マジカルサンダー、万力、ノコギリ、ホットボンド、ホットボンドスティック

プログラムの概要・ねらい

輪切りにした木に、拾った自然物や木の葉などをホットボンドで貼り付ける。一人一人のオリジナリティを大切にすることで、創造性を育むことができる。グループごとに実施すれば、グループの結束を深めることもできる。でき上がった作品で展覧会を開いてみるのもよい。

※ノコギリを使って間伐材（丸太）または丸木材を切る作業あり

①準備

材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
窓を開け、部屋の換気を十分に行う。工具の確認をする。

②実施の流れ

【時間】

0:00　屋外へ出て、自然物を拾ってくる。その際、生きている草花を必要以上に採集しないように指導する。
※林や茂みには入らない。

0:30　材料の間伐材または丸木材（直径6cm程度）を万力に固定し、ノコギリで厚さ1～2cm程度に輪切りにする。（写真①）

1:00　切った木の切断面をマジカルサンダーでよく磨く。（写真②）
マジックテープが付いてる面に、ヤスリを貼り付けて使用する。
荒削り用→仕上げ用

子どもの作業状況により、早く削るためにベルトサンダーを使用する。（写真③）ベルトサンダーを使用する場合は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意をする。
※削る際は、機械の横に立って作業をする。
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。
※1 台につき二人同時に作業は行わない。

1:15　輪切りをした木に、ホットボンドで自然物などを貼り付ける。ビーズなどを持参し、貼り付けるのもよい。（写真④⑤）
※ホットボンドを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。
※ホットボンドの先端部分は高温になっているので取り扱いに注意する。

1:45　片付け

2:00　終了

※プログラムで他の利用者が使用している施設には、入らないように指導する。
※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビ等に遭遇した場合の注意を徹底する。
（別紙　注意が必要な動植物参照）

①

②

③

④

⑤

③後片付け

ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。
（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。
クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。

2025/03/01 改訂